

令和における 福生市立学校の 在り方検討委員会

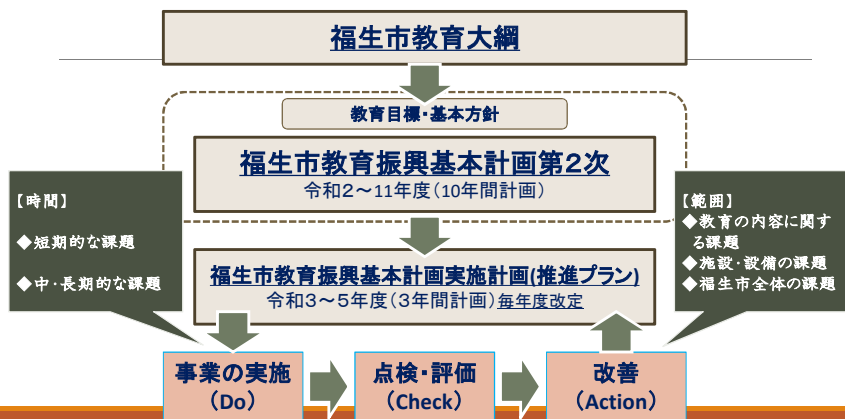
日時：令和4年5月18日(水)午後3時から午後5時まで
会場：福生市役所第1棟2階 第1・2会議室

5 検討委員会の設置目的について

令和における福生市立学校の在り方検討委員会設置要綱
(設置)第1条

福生市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が、**教育課題の解決や、学校教育に対する市民の思いや願いの実現という観点から、今後の福生市立学校の在り方等の検討を行う**ため、令和における福生市立学校の在り方検討委員会(以下「検討委員会」という。)を置く。

5 検討委員会の設置目的について



5 検討委員会の設置目的について

令和における福生市立学校の在り方検討委員会設置要綱
(所掌事項)

第2条 検討委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 小中一貫校に関すること。
- (2) 学校教育におけるICTの活用に関すること。
- (3) 不登校対策に関すること。
- (4) コミュニティ・スクールの充実にに関すること。
- (5) その他教育委員会が必要と認める事項

5 検討委員会の設置目的について

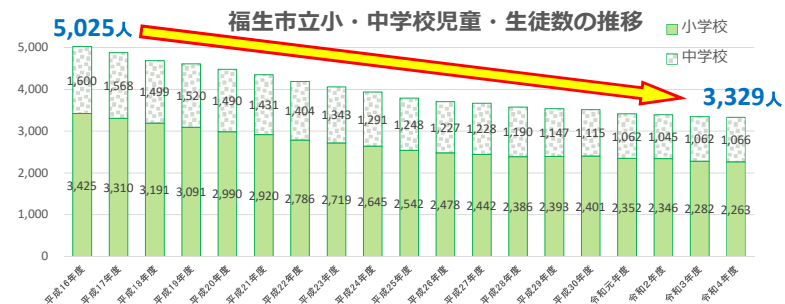
「令和における福生市立学校の在り方検討委員会」の設置・運営

Mission 1	Mission 2	Mission 3	Mission 4
小中一貫校の検討 (小中一貫教育) 【課題】 ① 小中一貫校の在り方の検討 ② 小中一貫校の開設準備 ③ 小・中学校区の再編、整理 ④ 35人学級への移行と教室の確保(教育支援課と連携)	ICTの活用 (日常的な活用の推進) 【課題】 ① iPad その他周辺機器を有効活用した授業の日常化 ② 情報モラルの向上 ③ 登校できない児童・生徒への学習支援の充実	不登校対策 (支援の充実) 【課題】 ① 不登校特例校(一中7組)の運営 ② 教育支援センター機能の充実・改善 ③ 校内支援体制の構築	コミュニティ・スクール(CS)の充実 【課題】 ① CS委員会相互の情報共有 ② CS委員会の自立運営支援 ③ 地域学校協働本部を含めた組織の整理(生涯学習推進課と連携)

5

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置



※ 各年度の5月1日の児童・生徒数

7

6 福生市立学校の現状について

- (1) 小学校を核とした公共施設の再配置
- (2) 町会をベースとした学区割
- (3) コミュニティ・スクール
- (4) 福生市の教育課題

6

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
小学校児童数	2,352人	2,346人	2,282人	2,261人	2,159人	2,119人	2,155人	2,132人	2,109人	2,054人
中学校生徒数	1,062人	1,045人	1,062人	1,066人	1,076人	1,082人	1,092人	1,073人	1,053人	1,099人
合計	3,414人	3,391人	3,344人	3,327人	3,235人	3,201人	3,247人	3,205人	3,162人	3,153人

※ 令和元年度から令和4年度までは、各年度の5月1日の児童・生徒数

※ 令和5年度以降の児童・生徒数は、令和4年4月1日現在の推計

8

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置

①人口（子ども）の減少

【学校規模の標準】

〈学校教育法施行規則〉

第41条（第79条 中学校準用規定）

小学校の学級数は、**12学級以上18学級以下**を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

9

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置

①人口（子ども）の減少（各小・中学校の学級数）

	令和4年度 学級数	令和10年度 学級数※		令和4年度 学級数	令和10年度 学級数※
福生第一小学校	12	12	福生第一中学校	12	12
福生第二小学校	13	14	福生第二中学校	12	12
福生第三小学校	13	12	福生第三中学校	<u>6</u>	<u>9</u>
福生第四小学校	<u>9</u>	<u>11</u>			
福生第五小学校	12	12			
福生第六小学校	12	<u>7</u>			
福生第七小学校	<u>10</u>	<u>11</u>			

※ 令和10年度の学級数は、令和4年4月1日現在の推計

11

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置

①人口（子ども）の減少（学級数が少ないことによる課題）

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成27年1月27日 文部科学省）より引用

教育活動 の制約

- クラス替えができない。
- 集団活動・行事の教育効果が下がる。
- 班活動やグループ分けに制約が生じる。
- 児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。 など

多様な価値観 に触れる機会 の減少

- 協動的な学びの実現が困難になる。
- 教員数が少なくなることで、専門性を生かした教育を受けられない可能性がある。
- 多様なものの見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。 など

10

6 福生市立学校の現状について

(1) 小学校を核とした公共施設の再配置

②施設の老朽化（各小・中学校校舎の経過年数）

学校名	建設年度	経過年数※	学校名	建設年度	経過年数※
福生第一小学校	昭和37年度	60年	福生第一中学校	昭和39年度	58年
福生第二小学校	昭和39年度	58年	福生第二中学校	昭和39年度	58年
福生第三小学校	昭和40年度	57年	福生第三中学校	昭和48年度	49年
福生第四小学校	昭和41年度	56年			
福生第五小学校	昭和43年度	54年			
福生第六小学校	昭和44年度	53年			
福生第七小学校	昭和48年度	49年			

※ 経過年数は令和4年度末時点

12

6 福生市立学校の現状について

(2) 町会をベースとした学区割



13

6 福生市立学校の現状について

(3) コミュニティ・スクール

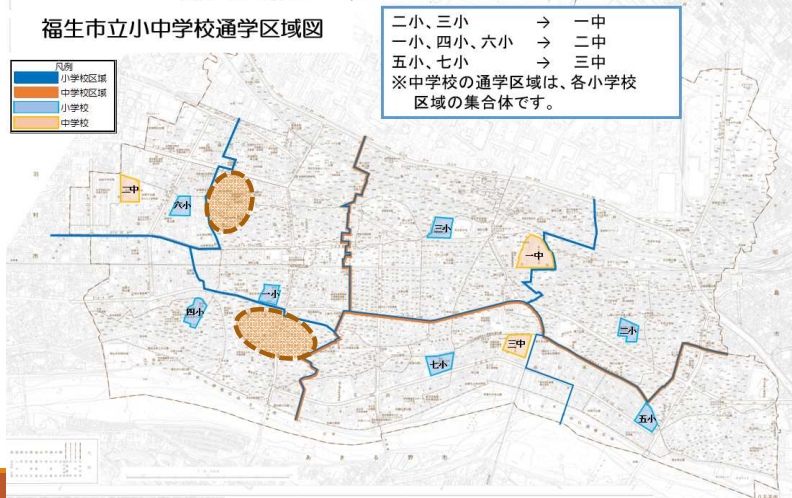
〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第47条の5

教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その所管に属する学校ごとに、当該学校の運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くように努めなければならない。（後略）

15

福生市立小中学校通学区域図



6 福生市立学校の現状について

(3) コミュニティ・スクール

◇ 全国のコミュニティ・スクール導入状況

11,856校 (33.3%)

◇ 東京都のコミュニティ・スクール導入状況

651校 (28.3%)

◇ 福生市のコミュニティ・スクール導入状況

10校 (100%)

令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査結果
(令和3年11月22日報道発表)

16

6 福生市立学校の現状について

(3) コミュニティ・スクール

◇各小・中学校コミュニティ・スクール委員会委員

福生一小	福生二小	福生三小	福生四小	福生五小	福生六小	福生七小	福生一中	福生二中	福生三中
徳永 喜昭	森田 幸春	郡司 光志	山崎 源太	栞梅 敬夫	青海 俊伯	坂垣 和生	工谷 利美	幡垣 正生	小宮三紀子
住友 郁治	北島 浩子	後藤 朝美	三ツ木美紀	野村 亮	嶋田 美子	高山 浩之	曾田ゆき子	下畑 成江	持田 洸
笹本 重子	曾田ゆき子	黒川 淳子	田村誠一郎	春日 廣信	田村 光男	島崎 泰二	中出 雅俊	田村 光男	坂垣 和生
津島知津子	刈田 来人	中出 雅俊	西山多恵子	石川 義郎	高山 雅代	藤原 政広	神山 千歳	竹原 弘美	渡邊三代子
飯島 尊士	清水 義朋	大石 明生	高山佐代子	瀬沼 圭子	古海 節子	平野千恵子	松下 行輔	伊藤 彰俊	福原 敬三
中森 富久	工谷 利美	濱中 賢次	太田 泰之	藤田祐一郎	海和磨里子	池田英津子	伊藤 弘大	山田 真一	杉本 雅希
島田 令子	高橋 信行	山崎 道男	岡田 又寿	杉本 雅希	肥沼 直美	宮崎寿美代	濱原 幸恵	厚谷まゆみ	瀬沼 圭子
石橋 朋広	原 佳寿美	石川 裕子	金子 康二	副島 正巳	平井 成泰	木村 敦史	原 佳寿美	青海 俊伯	深津 貴成
浦野 明宏	神山 千歳	中野 恵一	高橋 典久	石川 博三	上野 恵美	山岸 史子	宮林 和也	森田 利夫	山田 麗香
高瀬 智子	湊 仁	鈴木 智子	南方 孝之	泉田 巧人	榎並 隆博		沼田 博明	小出 宏	植村 多岐

17

6 福生市立学校の現状について

(4) 教育課題の解決

② 支援が必要な児童・生徒への対応

- 不登校の現状
- 「分教室型不登校特例校」の現状と課題
- 「教育相談室」及び「そよかぜ教室」の現状と課題

19

6 福生市立学校の現状について

(4) 教育課題の解決

① 学力の向上

- 学力・学習状況調査等の結果
- 英語教育の推進
- ICT(iPadを含む)を活用した授業改善

18